

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和2年6月11日(2020.6.11)

【公開番号】特開2018-184350(P2018-184350A)

【公開日】平成30年11月22日(2018.11.22)

【年通号数】公開・登録公報2018-045

【出願番号】特願2017-85373(P2017-85373)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/49 (2006.01)

A 6 1 Q 5/04 (2006.01)

A 6 1 K 8/46 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/49

A 6 1 Q 5/04

A 6 1 K 8/46

【手続補正書】

【提出日】令和2年4月23日(2020.4.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

以下の工程(i)～(iii)を含む毛髪処理方法。

工程(i)：以下の成分(A)を含有する第一の組成物を毛髪に適用する工程

(A) 分子量が350以下であり、かつフェノール性水酸基を1以上4以下有する芳香族化合物又はその塩

工程(ii)：工程(i)の後、毛髪を15以上100以下で15秒以上60分以下放置する工程

工程(iii)：工程(ii)の後、以下の成分(B)を含有する第二の組成物を毛髪に適用する工程

(B) 分子量が300以下の芳香族スルホン酸又はその塩

【請求項2】

工程(iii)の後、毛髪をすすぎ流す工程を含み、工程(iii)と毛髪をすすぎ流す工程の間に、更に工程(iv)を含む、請求項1に記載の毛髪処理方法。

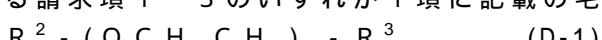
工程(iv)：第二の組成物を塗布した毛髪を15以上100以下で1分以上60分以下放置する工程

【請求項3】

成分(A)の芳香族化合物の無機性値が100以上500以下かつ有機性値が120以上300以下である請求項1又は2に記載の毛髪処理方法。

【請求項4】

第一の組成物中における(D)以下の一般式(D-1)で表される有機溶剤の含有量が10質量%以下である請求項1～3のいずれか1項に記載の毛髪処理方法。



[式中、R²は水素原子又は炭素数1以上5以下のアルキル基を示し、R³は水素原子又は水酸基を示し、qは0以上5以下の整数を示す。ただし、qが0である場合にはR²及びR³は同時に水素原子とはならず、qが0でない場合において、R²が水素原子である場合

R³は水素原子、R²がアルキル基である場合R³は水酸基である。】

【請求項5】

第一の組成物中に、更に成分(C)として増粘剤を含有する請求項1～4のいずれか1項に記載の毛髪処理方法。

【請求項6】

第一の組成物の25におけるpHが、2以上10以下である請求項1～5のいずれか1項に記載の毛髪処理方法。

【請求項7】

第一の組成物の25におけるpHが、5以上8以下である請求項1～6のいずれか1項に記載の毛髪処理方法。

【請求項8】

第二の組成物中に、更に成分(C)として増粘剤を含有する請求項1～7のいずれか1項に記載の毛髪処理方法。

【請求項9】

第二の組成物中に、更に成分(E)として芳香族アルコールを含有する請求項1～7のいずれか1項に記載の毛髪処理方法。

【請求項10】

工程(iv)において毛髪を放置する際の温度が15以上30未満である請求項2～9のいずれか1項に記載の毛髪処理方法。

【請求項11】

工程(iv)において毛髪を放置する際の温度が30以上100以下であり、かつ放置時間が1分以上30分以下である請求項2～9のいずれか1項に記載の毛髪処理方法。

【請求項12】

還元剤を含む毛髪処理剤及びpH12～14の毛髪処理剤のいずれを髪に塗布する工程も含まない1～11のいずれか1項に記載の毛髪処理方法。